おがまち 日奈久ニュース

令和３年９月号
（第１４５号）
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
（７月末現在）
男　1124人
女　1364人
計　2488人
（前月比-12人）
（2009年末3444人）

日奈久校区敬老会
対象者（77歳以上）は、７５４名
「式典及び集い」は中止

なお、心ばかりのお祝いの品と日奈久小学校1年生及び中学校生徒代表からのお祝いの手紙を婦人会会員がお届け致しますので、お納めください。

「敬老を迎えられる皆様へ」
日奈久住民自治会会長　今田　徳次郎

残暑厳しい折、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

敬老の日を迎えられる皆様方の、ご長寿とご多幸を心よりお祝い申し上げます。

さて、今年も「敬老の日」が近づき、皆様のご長寿とご多幸をお祝いしたく、敬老会「式典」及び「集い」の準備を進めて参りましたが、いまだに新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあり、感染予防のため、大変残念ではございますが、本年のお祝いの行事を中止することと致しました。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

「だいすきな　おじいちゃんおばあちゃん」
日奈久小学校1年　かわかみりこ

おじいちゃんおばあちゃん、しゅくだいがおわったあと、あそんでくれてありがとう。いつもはたけしごとをがんばったおじいちゃん、これからもけがをしないようにがんばってね。まいにちおいしいごはんをつくってくれたおばあちゃん、これからもおいしいごはんをつくってね。おじいちゃんおばあちゃん、ありがとう。

「敬老の日おめでとうございます」
日奈久中学校生徒会長　内田亜弥

日奈久中生徒会長の内田です。

今年も暑い日が続きますね。どうお過ごしでしょうか。

コロナウイルスの影響で、今年も皆さんと交流する機会がなく、とてもさみしいです。

しかし、この夏は東京オリンピックが開催され、私たちはたくさん元気をもらいました。皆さんはいかがでしたか。

早く今のコロナウイルスの状況が落ち着き、皆さんの笑顔と会話が増え、幸せな日々が送れることを願っています。

一人一人が感染対策をし、体調管理に気を付け元気に過ごしていきましょう。お体にだけは皆さん、気を付けてくださいね。

「ありがとう」が行き交うまち　日奈久
身近な人に「ありがとう」愛する日奈久に「ありがとう」訪れる人に「ありがとう」

地球に優しい行動を！
「せせらぎ運動に参加して」
北園百合子

婦人会活動の一環として、毎年「せせらぎ運動」を実施しています。

今年も7月30日（金）午前7時より、大坪川・塩鶴川の2班に分かれ、水温計測や試薬を使っての汚染調査を小学生6名、婦人会7名の参加で行いました。上流・中流・下流とあまり変化は見られず、少し汚染はあるもののきれいな水が流れていました。魚も泳いでいました。小学生も真剣なまなざしでメモを取りながら協力し、感想には、「これからも川を汚すことがないよう、ゴミなど捨てないで守りたい」と書いていました。

この大切な水を次世代に残すよう、私たちも地球に優しい行動を取るよう努力しなければと再認識した朝のひとときでした。

調査結果をメモする小学生

避難時における高齢者の生活支援について
「日赤熊本支部　坂本清美氏の講話を聞いて」
羽多野文子

日奈久校区婦人会では、日頃、コロナ禍における小学校への手作りマスクの寄贈、災害時のタオル寄贈・ボランティア支援など、地域で支え合うことを目標に活動しています。

そこで、8月4日（水）ゆめ倉庫で24名の参加し、避難時における高齢者の生活支援について学びました。

○相手の気持ちに寄り添い支援する。
○生活支援の基本は自立支援であることを念頭に、必要以上の手助けを避ける。
○心身の機能が低下する生活不活発病・脱水・集団生活で起こりやすい呼吸器感染症・食中毒・エコノミークラス症候群などに気を付ける。

実習では、床からの立ち上がり方や清拭の仕方、新聞で箱作り、タオルケットを使ったガウンなど、教えて頂きました。

最後に、ボランティアの心得として、高齢者の話を聴くのは大切な支援の一つです。先ずは自身の健康管理をしっかりすることが大切だということです。

熱心に聞き入る参加者

日奈久
歴史散歩

島原の乱に出陣、一番乗り…！
尾藤金左衛門（馬越）の話（その2）

島原の乱とは1637年（寛永14年）に生じたキリシタン農民による一揆です。島原・天草の乱とも呼ばれます。島原・天草のキリシタン農民らは、天草領主、島原領主らがキリシタンへの弾圧に加えて税目や税率を増やし、それらを納められない住民を火あぶりや水責めなどの拷問にかけるなどの悪政に反発して、原城にこもり抵抗を続けました。参加した農民は38000人。幕府側討伐軍の軍勢は最終的には12万人ともいわれています。挙兵してから原城が落城するまでに要した期間はなんと半年。江戸時代に起きた一揆の中では最も大きな規模でした。

前月号で紹介しましたように、日奈久の馬越で蟄居（家に閉じこもる）して「寝ても起きても三千石」と世間の人たちから言われていた尾藤金左衛門がここで再登場です。

尾藤はもともと優れた武将だったので、蟄居を許されて、藩主細川忠利の命令でこの戦いに出陣しました。

尾藤は、今こそ抜群の戦功を上げて藩主に恩返しをする絶好のチャンスと意気込んで、いつも軍の先頭に立って指揮をしました。そしていよいよ総攻撃となりました。尾藤は先陣を切って一揆軍に突進、一番乗りとして「肥後細川藩尾藤金・・」まで名乗りを上げた一瞬、流れ弾がのど元を貫通し声が出せなくなりました。するとそばにいた家来が間髪を入れず、「左衛門！」と叫んだのでした。戦いの様子を監視していた軍目付は、これを聞き尾藤を敵陣一番乗りとして功名帳に記録したということです。

※本文は中原文敬著「日奈久の歴史」及びベネッセ「日本の歴史」を参考にしました。

新しいプリンターが入りました

「おがまち日奈久ニュース」等の印刷に使っていたプリンターが老朽化し、トラブルが見られるようになったために、新しいプリンターを購入しました。

この購入に当たり、先月号でお知らせした故松本米子様の香典返しの一部を活用させていただきました。ありがとうございました。

（右写真が、購入したキャノンプリンターLBP851C形）

吉田幸一様（塩南町）のご逝去に伴う香典返しとして吉田峯子様より住民自治会へ寄付をいただきました。ありがとうございました。

中川明様（塩南町）のご逝去に伴う香典返しとして中川きぬよ様より住民自治会へ寄付をいただきました。ありがとうございました。

住民自治会運営委から

8月16日（月）開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項についてお伝えします。

○町内連絡委員会
・9月の町内一斉清掃は、9月12日（日）に予定していますが、各町内の実情に応じて計画されます。詳しくは、コミセンだよりでお知らせします。

○旅館組合
・チーム♥I日奈久が、ユーチューバーとなり「ラブひなチャンネル」を開設しました。日奈久を積極的に発信します。

○事務局
・浜町の溝部賢治様から、塩南町の大村三郎様より譲り受けられた丸鋸（中古品）と大形丸鋸歯（新品）を住民自治会に寄付をいただきました。
・コミセン1階会議室天井の水漏れ染みの塗装が完了しました。

9月の行事から

1日（水）～30日（木）
「九月は日奈久で山頭火」
20日（月）敬老の日
「日奈久美術展」作品締切
23日（木）秋分の日

＜住民自治会関係会議等＞
13日（月）市政協力員例会
15日（水）運営委員会
17日（金）広報部会

（広告欄）

今年もいただきました
JRA寄付物品目録贈呈式

7月30日(金)に、日奈久コミュニティーセンターにおいて、本年度のJRA寄付物品（30万円相当）の目録贈呈式が行われました。JRAからは、林康太所長と鴨澤桜花副所長が来られ、今田徳次郎住民自治会長に目録が手渡されました。

林所長より目録を受け取る今田会長

本年度の寄付物品は次の通りです。
○肘掛け付座椅子（各町内8脚ずつ配布）
（大坪町、塩北町、塩南町）
○ホワイトボード（自立型両面）（竹之内町）
○ターフテント・折り畳みテーブル（東町）
○リクライニング座椅子2脚ほか（中西町）
○インクジェットプリンター（住民自治会）
なおJRAからは、祭りやイベントの開催に対しても、寄付金（計10万円）をいただいております。ありがとうございました。

第22回「九月は日奈久で山頭火」
9月1日～9月30日開催

種田山頭火が日奈久の「織屋」に泊まったのが、91年前の9月10～13日。多くの方々に山頭火を知っていただき、日奈久温泉を楽しんでもらおうと「九月は日奈久で山頭火」を始めて今年で22回目となります。

全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大しています。熊本県は9月12日まで「まん延防止等重点措置」の対象地域になりました。今回も一堂に集まって行事ができませんので、

くまモン山頭火登場！
どこにいるか探してね

「おりや一般公開」
「作品募集（俳句、絵手紙・俳画）」
「まちなかギャラリー（くまモンの横に山頭火の句展示）」

を行います。

俳句をひとひねり。絵手紙や俳画に挑戦。ふるって応募してください。また、山頭火の俳句をたどって、日奈久のまちなか巡りを楽しんでください。

安全安心な日奈久のまちづくりに関わって
池田正一氏、浅川美孝氏　防犯功労者表彰を受賞

この表彰は、永年にわたり地域の自主防災活動に功労があった団体及び個人に対する表彰です。池田正一氏（東町）は、熊本県防犯協会連合会会長と熊本県警察本部長からの表彰、浅川美孝氏（山下町）は、八代地区防犯協会連合会会長と八代警察署長からの表彰です。

お二人は、日奈久防犯協会隊員（計14名）と共に、毎月第2土曜日にぼんぺい湯前に集合し、日奈久交番の伊東秀雄氏の指導を受け、パトカー乗車組と見回り組に分かれて日奈久をパトロールしてきました。特に夏休みと冬休みには、4班に分かれ、毎週月・水・金・日に見回りをしてきました。

池田氏は、「日奈久は観光地でもあるし、日本一住み良い街にしようと隊員が協力し合ってがんばっています。交番の伊東所長のご協力も大きいです」と力強く語られました。浅川氏も「子どもの安全を守るためのパトロールをして行きたい。また、地域の安全に貢献したい」と語られました。

前列中央が池田氏、後列左より２人目が浅川氏

「やつしろし万灯会」に
竹灯籠ワークショップ講師として参加

八代市社会福祉協議会では、毎年8月15日、一年間に亡くなられた方のご冥福を祈ると共に、初盆を迎える家庭の立ち直りと繁栄を願うことを目的として、「やつしろし万灯会」を開催しています。昨年から環境美化の観点から、精霊流しからホールで行う「万灯会」と形式を変えられています。

今回は、令和2年7月豪雨にてお亡くなりになった坂本町の方の慰霊と坂本町の復興祈念として、坂本町の竹を使って竹灯籠を作成し、式典会場に万灯（多くの灯籠という意味）と一緒に飾ることになりました。

そこで、「日奈久の彩」等で竹灯籠作成の実績がある日奈久住民自治会に、竹灯籠の作成指導の依頼がありました。日奈久住民自治会からは、4名（坂口祐弘氏、坂部彰氏、村上眞治氏、山田重典氏）、万灯の会からは、17名の参加がありました。

竹の切り出しから二種類の長さでの切断、そして作成へと進みました。最初に道具の使い方から竹の切り込み等の指導をして、自分の好きな絵柄を選んで竹に貼り付けていざ開始です。最初は全員が緊張気味でしたが、一人一人に最初の切り込み箇所などを指導すると一斉に制作に没頭。早い人は2時間ぐらいで作り上げ、2本目に挑戦していました。

緊張しながらも作業に取り組む参加者

参加者の一人の女性も男性に負けることなく作り上げ、満足されていました。残った竹を持ち帰り、「自分独自の灯籠を作りたい」といっておられました。今回の竹灯籠づくりでは、けが等もなく終えられたことがうれしいという主催者の挨拶で終了しました。

（今年の「やつしろし万灯会」は、大雨とコロナ禍のため中止となりました）

作成を終えて記念撮影

「学びの夏」
日奈久中学校でサマースクール開催

日奈久中学校では、この夏休み期間に5日間のサマースクールが実施されました。

夏休みの学習習慣・リズムづくりと生徒自身が学習の定着度を知り、弱点や目標を明確にすること等を目的として実施されました。

期日は、夏休み初めの3日間（7月26日、27日、28日）と終わりの2日間（8月23日、24日、8月25日が2学期の始業式）です。国語、社会、英語、数学、理科の5教科を、日替わりで2時間ずつ実施されました。この活動は「地域学校協働活動」の一環で、地域や日奈久に縁がある人を講師に迎えて実施されました。国語は、杉本禎子氏（松江町、以前日奈久小学校で勤務）、英語は、竹林茂晴氏（新田町、元学習塾経営）が、担当されました。

優しく語りかけられる杉本禎子氏

丁寧に指導される竹林茂晴氏

お二人は、各学級で個別指導の後、「日奈久の子ども達は、無邪気で可愛い。まじめによく頑張って学習しますね」と話されました。2年生の松本龍樹さんは、「優しく教えてもらってよく分かりました」と笑顔でした。生徒達は、講師のお二人の優しいご指導に集中して取り組んでいました。

日奈久校区民体育祭及び
日奈久十五夜綱引き　中止のお知らせ

全国的に新型コロナウイルス感染が拡大し、八代地区でも毎日のように感染者が増加しています。

そこで、8月10日開催の体協理事会で話し合った結果、今年度の日奈久校区民体育祭は**中止**することになりました。

また、今年の十五夜綱引き（令和3年9月21日）の開催に関しても、温泉神社小林宮司と湯の里振興会今田会長と協議の結果、多数の人が集まる行事ということで**中止**することになりました。

丑の湯祭り　今年も神事のみの開催

今年の丑の湯祭りは、7月28日（水）でした。ワクチン接種が進みつつあるとはいえ、依然としてコロナ禍の収束の見通しが立ちません。そこで、今年も神事のみの開催となりました。

今年の請前は、浜町で、7月25日（日）に清掃や準備を行いました。

神事では、小林緑郎宮司が、コロナウイルス感染症の収束も含め祝詞を上げました。「来年は、温泉神社が現在地に移されて200年を迎えます。来年は是非丑の湯祭りが開催されることを祈ります」と話されました。

最後に参加者全員で記念撮影

（広告欄）